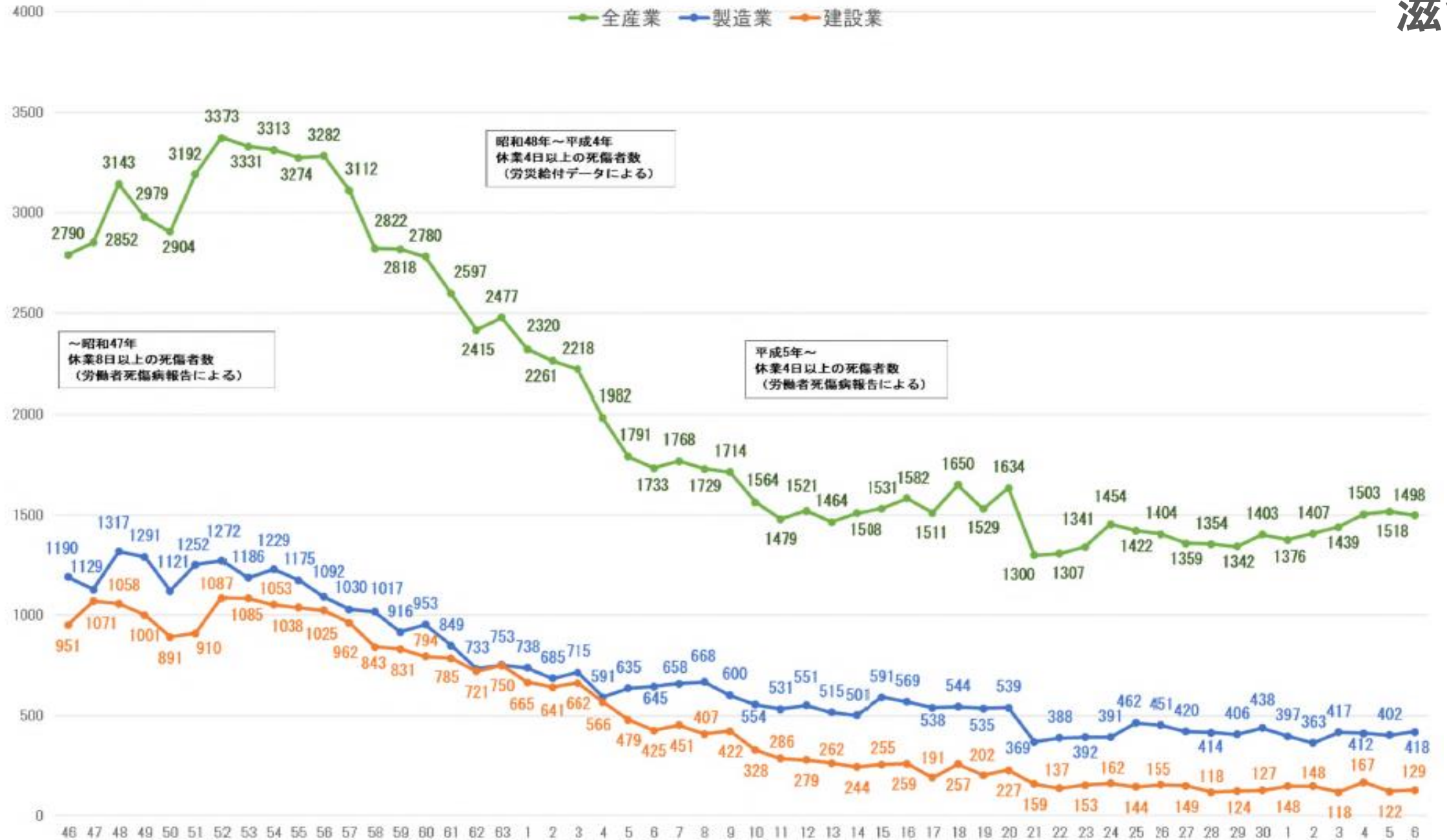


労働災害発生状況 労働災害防止対策について

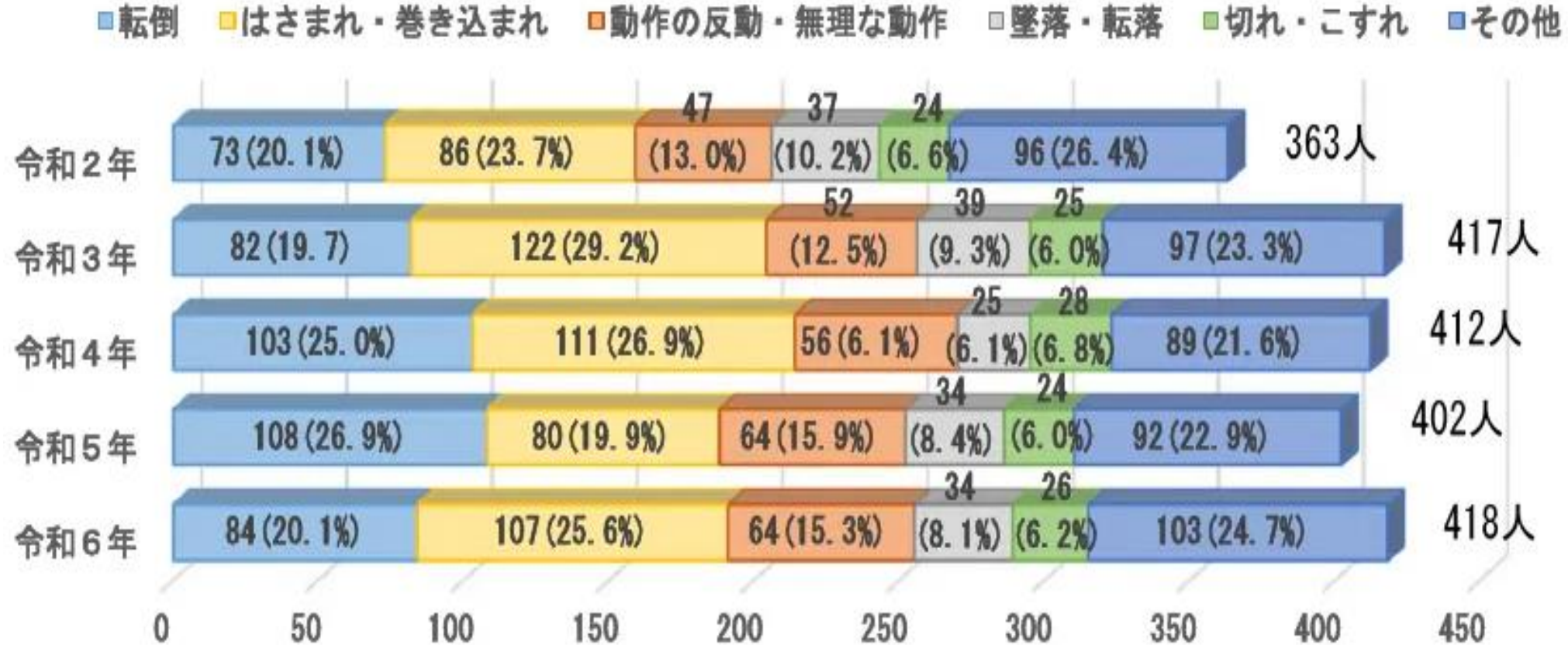
令和7年10月24、31日 粉じん障害防止、労務管理に関する説明会

東近江労働基準監督署
安全衛生課 浜口 幸一

● 労働災害発生状況の推移



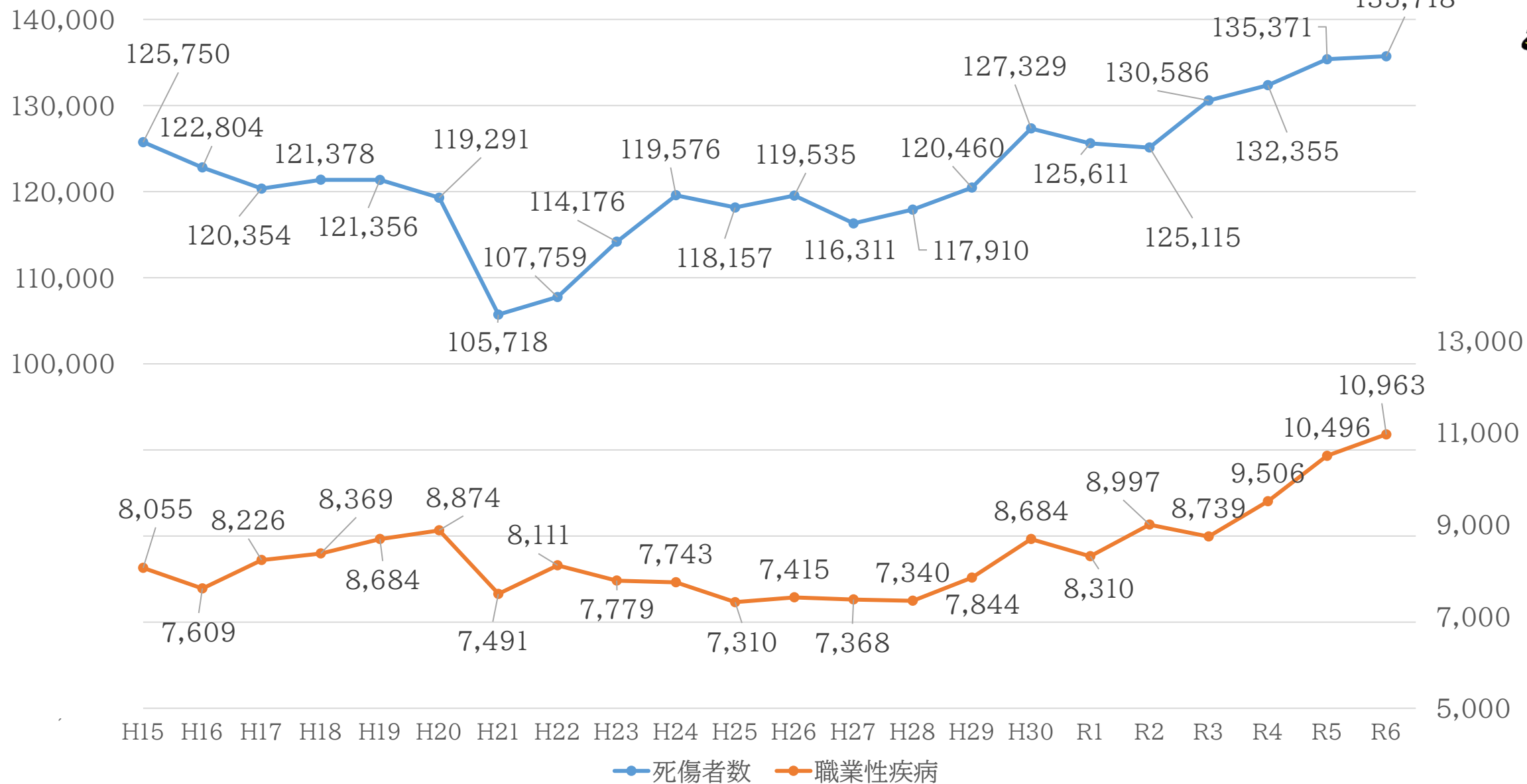
事故の型別死傷災害発生状況【製造業】



※「労働者死傷病報告」による



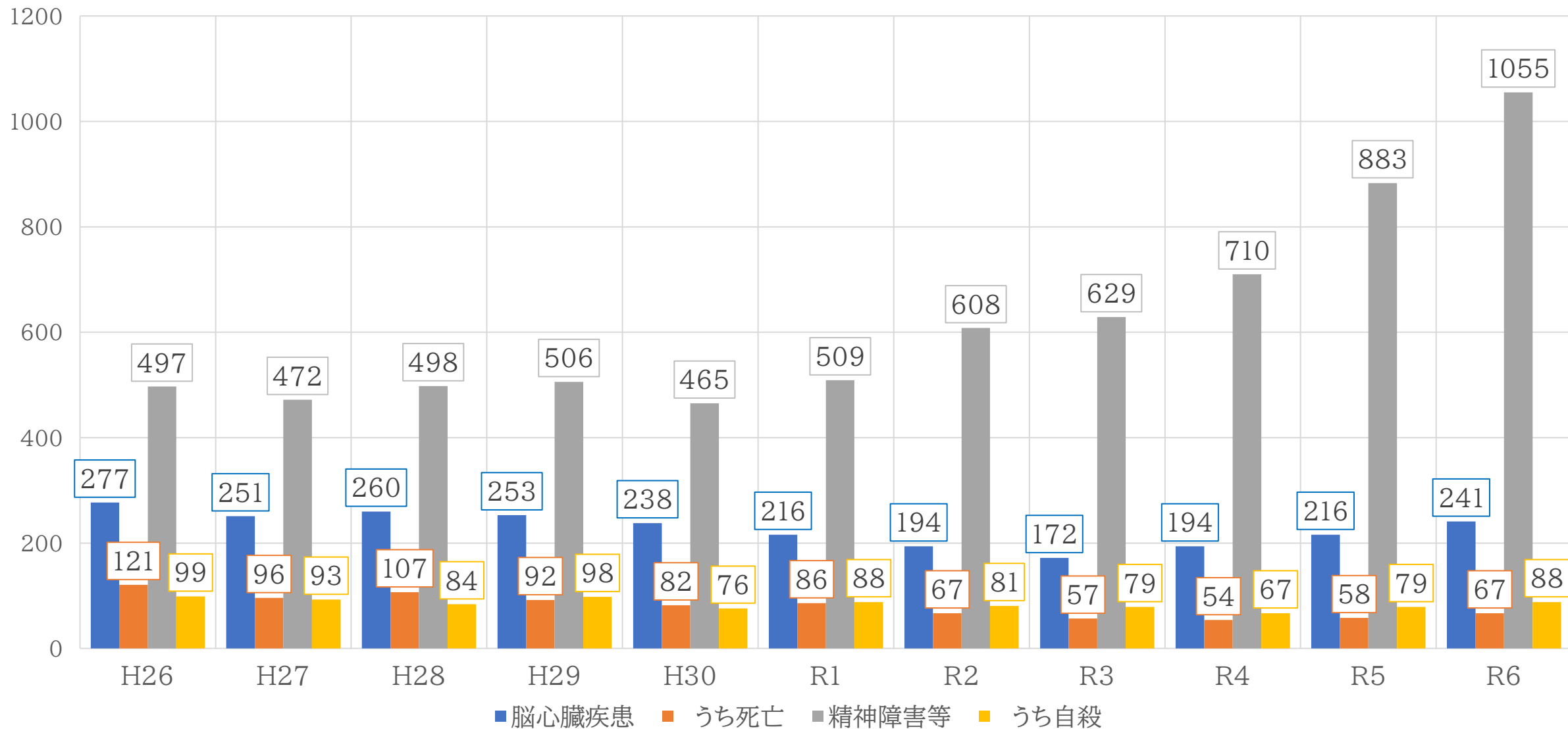
死傷者数と職業性疾病の件数 全国



※ 休業4日以上 ※ 新型コロナウイルス感染症は除く

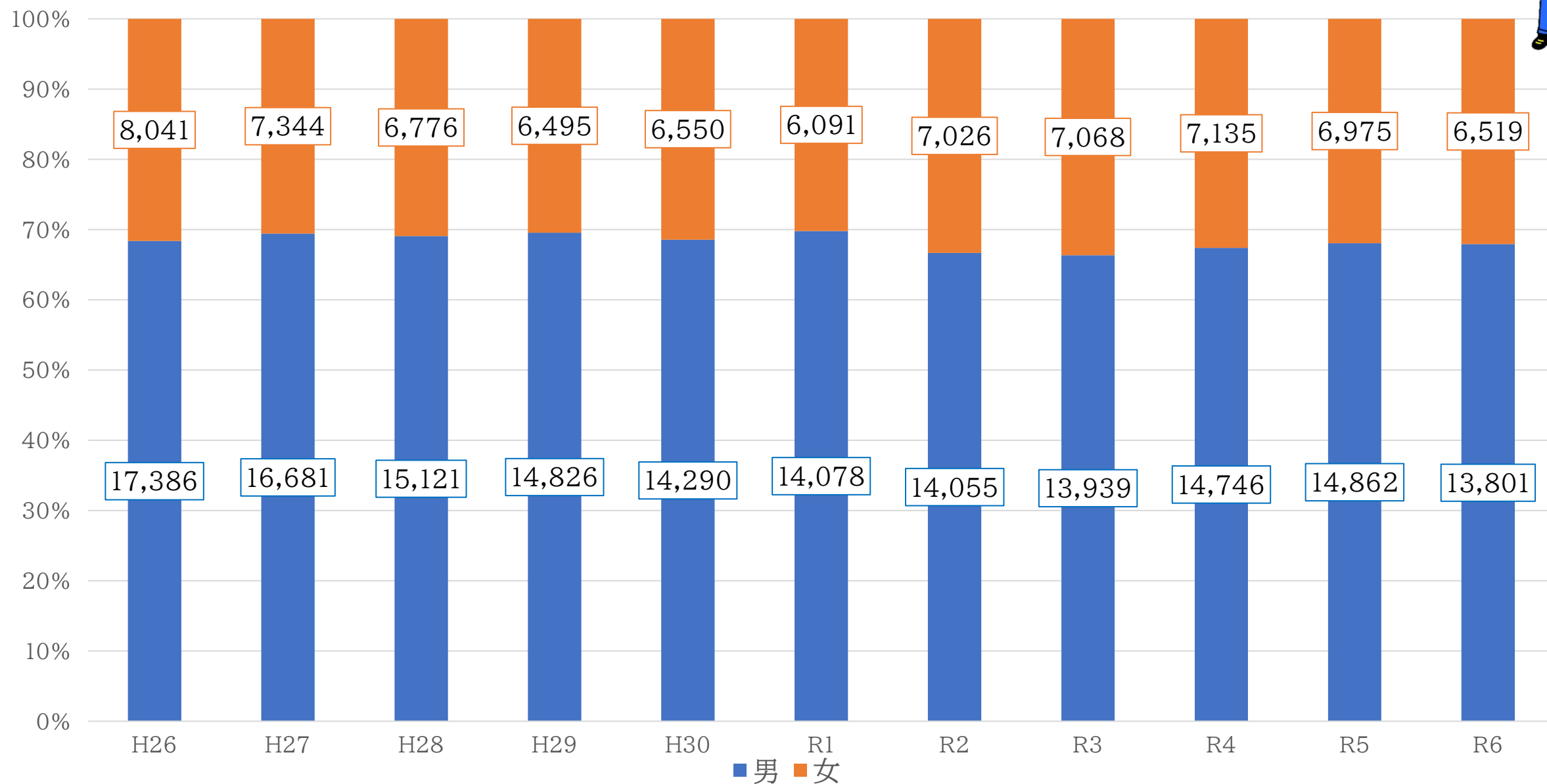


過重労働による脳・心臓疾患 精神障害等に係る労災支給決定数 全国

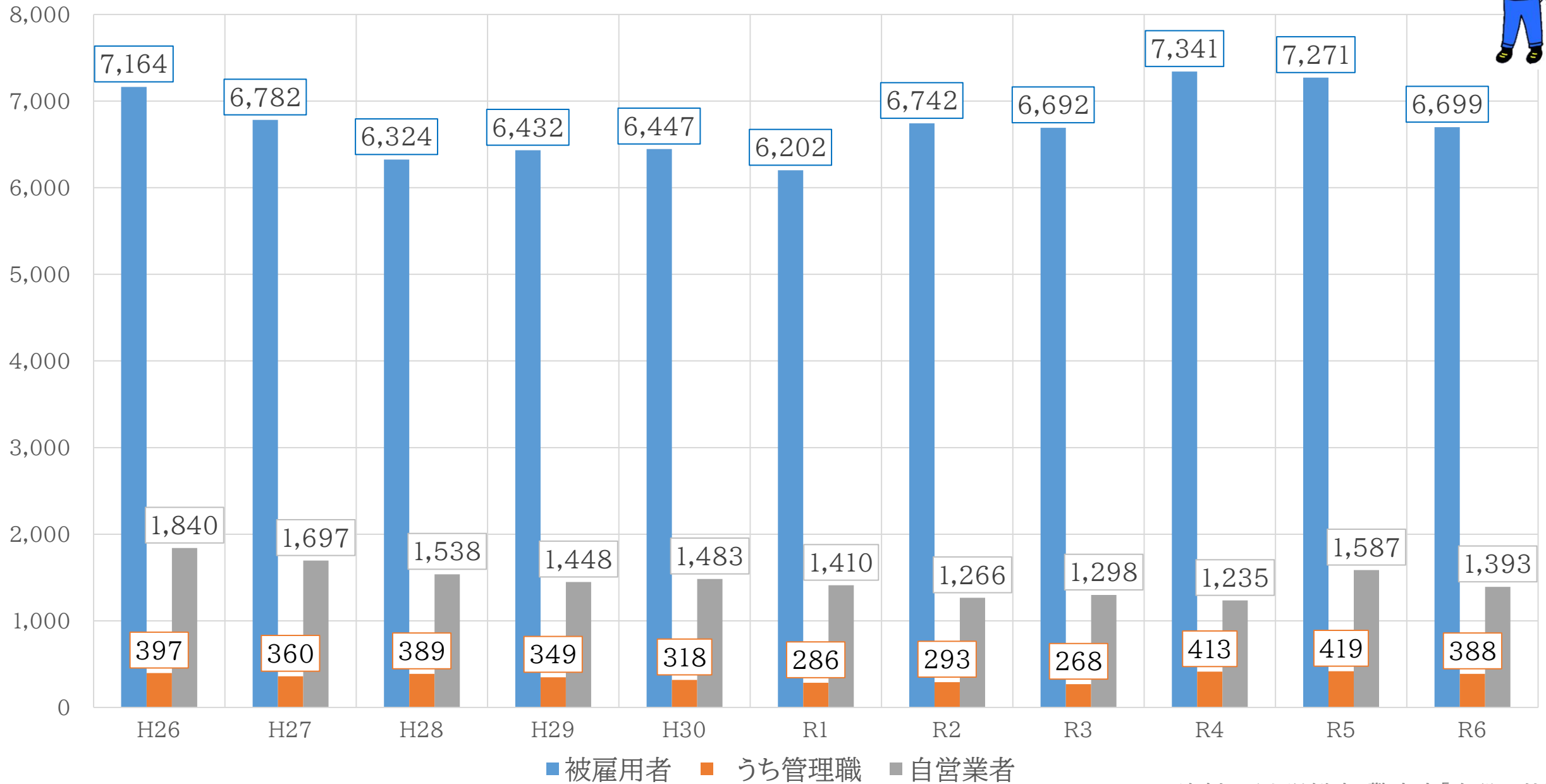




男女別の自殺者数 全国



自殺者の属性 全国



資料：厚生労働省・警察庁「自殺の状況」



労働災害防止対策について

- 安全性の事前評価
リスクアセスメントの実施
安全パトロールや職場巡視
- 機械設備・作業環境の安全化
危険箇所への囲い、想定される条件を考慮した素材や強度、
故障や誤作動等で安全側に作動する機構、作業性の確保、
保全性の確保



環境の安全化

- 機械設備のレイアウト
スペースの確保
- 通路、階段
躓き、滑り、踏外しの防止
- 高所作業の作業場所
墜落・転落の防止
- 採光、照明
作業性、安全性の確保

- 色彩調整、標識
快適な作業、情報の伝達
- 換気
有害性を有するガス、粉じん等
- 温度
熱中症予防、肉体的負担の軽減
- 騒音
難聴防止、円滑な情報伝達
- 整理整頓
4S、5S



安全点検

- 日常点検 定期点検 臨時点検
 - 点検が適正、確実に行えるため、次の事項を定める
 - ①対象となる機械設備等、②点検時期・頻度、③実施者・資格等、④点検箇所、⑤点検項目、⑥点検方法、⑦判定基準
- 異常や不具合が発見された場合は補修等を行うとともに、点検、補修の結果を記録、保存する
- チェックリスト、点検マニュアル、記録簿を作成する
 - 点検実施者に教育を行う、定期検査を年間計画に盛り込む



作業標準の要件

作業標準とは、JIS品質管理用語として「作業条件、作業方法、管理方法、使用材料、使用設備その他の注意事項などに関する基準を決定したもの」と定義されているもの。作業のルール。

- 作業の実情に即したものであること
- 「よい作業」の標準であること
- 表現が明確であること
- 生産性や求める品質に見合ったものであること
- 詳しすぎないこと
- 異常時の措置についても定めておくこと
- 他の規定等に反するものでないこと



チューイカン吉
労働現場での熱中症予防
など労働災害防止を注意
喚起するキャラクター